

令和5年度特定非営利活動法人オアシス総会

令和5年4月30日(日) 15:00~

於 小江公民館

次第

- 1 理事長挨拶 21+8 29名. 定足数を満している。側面と裏面コロナによる方向性の變化
- ・議長選出 沢田 恭敬
 - ・書記任命 藤田 恵
 - ・議事録署名者委嘱 金田 圭典, 山本佳樹

2 議事

第1号議案 令和4年度事業報告の承認について 金田 圭典

1 事業の概略

2 事業実施に関する事項

(1) 海外支援に関わる事業

(2) SDGs 17の推進、奉仕・公演・講演など啓発事業

その他

第2号議案 令和4年度収支計算書の承認について 平出 暁

・監査報告 仲田 孝正

第3号議案 令和5年度事業計画(案)の承認について 山本佳樹

1 事業の概略

2 事業実施に関する事項

(1) 海外支援に関わる事業

(2) SDGs 17の推進、奉仕・公演・講演など啓発事業

その他

・年間活動予定

第4号議案 令和5年度収支予算(案)の承認について 平出 暁

社員 5 (40名)

カンボジア教育支援(行くことができません)

例年どおりだが、コロナ等の関係で変更あり。

【参考】本会の成立要件

〈定足数〉定款第26条「総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。」

令和5年度総会挨拶に替えて「コロナ禍で温めためてきたこと」

コロナ禍のトンネル走行、やっと前方に白く輝く楕円状の空間が浮かび上がってきています。ダークで淀みの多い空間から精気溢れるスッピン空間への帰還です。しかし、誰もが当初予想した以上に、長く辛い3年間でありました。

私たちオアシスの社会活動（ボランティア活動）は、コロナ以前は言うなれば、カンボジア王国（以下カンボジア）相手の専門店。しかし、コロナ禍は、私たちの専門店の看板を引き千切り、NPO 法人としての新たな活路開拓を突き付けてきました。

【カンボジアでの財産を拡大再生産につなぐ】 振り返ってみるに、カンボジアに特化していた分、①カンボジア関連の情報、とりわけ「特色ある教育関連情報を蓄積すること」ができた。②活動の過程において、それぞれの人脈を広げ、「人儲けをすること」ができた。③カンボジアでの活動やそれぞれの報告会・交流会を実施し、より多くの市民からの批判検討を仰ぐことで「共育を体現すること」ができたなど、活動自体は縮小したものの多様性を取り込み新たな歩みを創り上げてきました。

とりわけ③においては、カンボジアとの関係で蓄積した知見・体験を発信する循環サイクルがより確かなものになっているととらえています。「大きく縮んで、大きくつながる」であります。独りよがりかもしれませんが、本法人にとってコロナ禍の停滞期が、目的とすべき社会活動の正面だけでなく側面・背面を見る機会をつくってくれました。

【パートナーシップで社会活動の幅を広げる】 私たちの人脈には、私たちが「地球志民」と標榜する人たちが思いのほか大勢いることに気づきます。その中でもとりわけ社員の皆さんの多くは、卓越した社会活動の実践者。それぞれの活動をマッチングしたりセット化したりすることで、新たな方向性を生み出すこともでき、お互いに感動することが多々ありました。

特に、「オアシス応援地球志民学校」の開校においては、外国人青年たちの日本での生活の機微に触れることができ、国際理解と同時に我が国日本をより深く理解する機会にもなったと思っています。渡航しなくてもディープな外国体験の場になりました。

【終活ではなく就活を掘り起こす】 年間活動計画にも掲げましたように、カンボジアでの活動の再開を期しています。この件に関しては、「何ができるか」を多様に吟味したうえで、「何がしたいか」を経て「何をする」を共通理解し、現地の学校・組織と協働できる可能性を推し量ることが重要と考えます。私たちの活動の基は、常にワンサイドの場の創造ではなく、「共育」の場を創り上げていくことの重要性なのです。「年齢をわきまえず、欲ばり過ぎじゃない！」の声が聞こえてくるようです。

本年度も従前同様、ご尽力、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

第1号議案 令和4年度事業報告

1 事業実施の概略

コロナ禍による自粛生活は本年度も継続、緊急事態宣言発令はなかったものの第6波、7波、8波の影響を直に受け、諸会合の延期・縮小・中止の憂き目を見てきた。結果、本法人の本年度の活動は、カンボジアでの現地活動は実施せず、3年続けて国内活動にとどまった。

2 事業実施に関する事項

(1) 海外支援事業に関して

ア コンテナ輸送事業（予定延期）

寄贈品衣類 8986 着を 147 段ポールに梱包完了した。しかし、急激な為替円安の憂き目に遭い、カンボジアへの船便輸送を見合わせているのが現状である。回復をまって、JHP・学校をつくる会カンボジア事務所との連携をとり業者選定、工程表づくりに取りかかっている。実施は、来年度事業となる。

(2) SDGs推進、奉仕・講演・公演など社会貢献に関わる事業

① SDGs17 推進事業に関して

ア オアシス社員社会活動相互交流の実施

5/8 「海岸・水中の掃除を一緒にやってみませんか」 大塚海岸 9名参加

6/25 同上 竹島海岸 7名参加

10/15 日本語指導塩津教室（三浦・篠田指導） 「浅井猛サイエンスショー」

10/16 BC主催「海岸・水中の掃除を一緒にやってみませんか」 西浦久慈浜海岸 5名参加

10月下旬 広報44号発刊

11/19 日本語指導塩津教室（三浦・篠田・足立）「足立農園ミカン狩り体験」

12/17 日本語指導塩津教室（三浦・篠田・平出）「平出暁マジックショー」

2月下旬 広報45号の発刊

2/26 海と山の交流活動「沖縄プロレス興行」応援事業 5名参加

イ オアシス応援地球志民学校の開催

8月27日（延期）⇒9月17日（再延期）⇒11月13日（日） 於：蒲郡荘

53名の参加者（内技能実習生及び日本語研修生29名）を得て、本法人主導ではあったものの多彩で活気ある交流会を実施した。参加者同士再会を期待する声が多く、それゆえに彼らの日常生活が単調かつ孤立がちであることが伺われた。

ウ パートナーシップを育む地域活動交流会の開催

55名の参加者のもと、本年度法人メンバーが関わっている社会活動をセット化して取り組んだ活動5例を報告し、それぞれの関係者との公開対話を実施した。立場の異なる人達から多彩な意見（価値）をいただくことができ、今後の活動の指針となった。

② 啓発等に関わる会議・講演・公演事業

ア マジック公演、授業実践等

マジック公演 47回 カンボジア関連教材授業 2回

その他

(1) 広報44号・45号の発行（横書きを縦書き構成に変更）

- ・特集「日本在住日本語実習生、技能実習生の声」
- ・広報44号より寄付金募集キャッチコピーの変更（以下）

SDGs 推進事業 17「パートナーシップで目標を達成しよう」 募金募集：一口3,000円

「国内外を問わず多様な可能性に挑む人たちの「志」の実現を助け、生活・教育・技能支援を行います。

募金先：特定非営利活動法人オアシス 郵便為替：00840-8-123690

(2) 諸会議の実施

- ・令和4年度総会の開催 4月24日（日）15：00 蒲郡荘

・役員会（理事会）の開催

〔5月役員会〕	22日（日）	小江公民館	「オアシス応援地球志民学校の日程と内容」など
〔6月役員会〕	26日（日）	小江公民館	「地球志民学校の日程と内容変更、写真展」など
〔7月役員会〕	24日（日）	小江公民館	「カンボジア訪問報告会」報告者：石川桂氏
〔8月役員会〕	27日（日）	小江公民館	「地球志民学校への参加対象者と広報寄稿者」など
〔9月役員会〕	24日（日）	小江公民館	「地球志民学校進行案、パンフレット案」など
〔10月役員会〕	22日（日）	小江公民館	「臨時総会（文書）・地球志民学校の役割と運営」など
〔12月役員会〕	26日（日）	小江公民館	「社会活動交流会運営案、写真展」など
〔1月役員会〕	14日（土）	小江公民館	「社会活動交流会準備会」
〔2月役員会〕	19日（日）	小江公民館	「社会活動交流会の反省・5年度の活動計画」など
〔3月役員会〕	19日（日）	小江公民館	「5年度総会案、活動日程案」など

第2号議案

令和4年度「特定非営利活動に係る事業会計」収支計算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人オアシス
単位:円

科目	予算額	決算額	差異	備考
(資金収支の部)				
I 経常収入の部				
1 会費・入会金収入	210,000	210,000	0	
1) 正会員会費収入	210,000	210,000	0	会員42名分×5,000円
2 事業収入	0	0	0	
3 補助金等収入	0	0	0	
1) 民間補助金収入	0	0	0	
4 寄付金収入	350,000	595,276	245,276	
1) 一般寄付	300,000	540,276	240,276	社員及び協賛者寄付金
2) 講師等謝金	50,000	55,000	5,000	手品・講演等お礼
5 雑収入	20	8,017	7,997	
1) 受取利息	20	17	△3	利息
2) 雑収入	0	8,000	8,000	小さな美術スクールカレンダー売り上げ
経常収入合計(A)	560,020	813,293	253,273	
II 経常支出の部				
1 事業費	1,501,000	409,788	△1,091,212	
1) 海外支援事業(コンテナ輸送)	1,200,000	0	△1,200,000	事業報告書参照
2) SDGs 推進 社会貢献にかかわる事業				
① オアシス応援地球市民学校	150,000	226,104	76,104	事業報告書参照
② 地域貢献活動交流会	100,000	136,163	36,163	事業報告書参照
③ オアシス社会貢献活動写真展	20,000	17,369	△2,631	事業報告書参照
3) その他の事業	31,000	30,152	△848	小さな美術スクール支援寄付・送料
2 管理費	115,000	65,417	△49,583	
1) 会議費	10,000	4,840	△5,160	総会会場費
2) 旅費交通費	5,000	0	△5,000	
3) 通信費	30,000	23,496	△6,504	支援者・社員へのお礼、広報等郵送代
4) 広報印刷費	20,000	6,680	△13,320	44号(1,000部)、45号(500部)
5) 文具類等消耗品費	10,000	1,635	△8,365	
6) 設備等使用料	20,000	18,766	△1,234	レンタルサーバー代12ヶ月分
7) 雑費	20,000	10,000	△10,000	お見舞い2名
経常支出合計(B)	1,616,000	475,205	△1,140,795	
経常収支差額(A-B)=(C)	△1,055,980	338,088		
前期繰越収支差額(D)	1,771,621	1,771,621	0	
次期繰越収支差額(C+D)	715,641	2,109,709		
当期正味財産合計	715,641	2,109,709		

第3号議案 令和5年度事業計画(案)

1 事業計画の概略

コロナ禍もほぼ収まり4年前の日常が戻ってきている昨今、一部戦争・紛争国を除く国境を越えての人流・物流もほぼ従来通りに。そんな中、本法人社員からのカンボジアでの現地活動の再開を望む声も強く、活動拠点の選定、活動内容等への見通しを模索している。また、昨年度実施した「オアシス応援地球志民学校」をさらに深化・発展させ、国内交流事業のさらなる充実を目指したい。

2 事業実施に関する事項

(1) 海外支援に関する事業

ア コンテナ輸送事業

昨年度よりの懸案事業。業者(上組)も決定し、現地送り先(JHPカンボジア支部)と連絡調整中。本年度上半期の実施を予定している。

イ カンボジア現地活動

カンボジアでの現地活動を再開し、活動拠点とニーズにあった活動内容づくりを目指す。
現地視察訪問(1月22日~26日)

(2) SDGs推進、奉仕・講演・公演など社会貢献に関わる事業

ア オアシス社員社会活動相互交流の実施

昨年度の事例を踏まえ、活動と活動とのマッチングを図り、随時活動を興し深化・発展を図る。

- 《昨年度の例》
- ・ 海岸清掃
 - ・ 海と山の交流活動
 - ・ 技能実習生日本語教室でのサイエンス・マジック・ミカン狩り

イ オアシス応援地球志民学校の開催

日本語実習生及び在日外国人の生活支援を中心に、「地球志民」相互のパートナーシップをさらに深める。本年度は、実習生及び在日外国人をスタッフに加わえて内容の充実を図る。

- 7/23(日) 外国人スタッフとの意見交換会(7月役員会を兼ねる)
11/5(日) 臨時総会・準備会
12/17(日) オアシス応援地球志民学校

その他

広報オアシスの発行(10月、2月)

年間活動予定(定例役員会を含む)

※開催日はすべて曜日は日曜日、開催時刻15:00、会場:小江公民館

4/30 総会 5/28 役員会 6/25 役員会 7/23 役員会・外国人スタッフとの意見交換会
8/27 役員会 9/24 役員会 11/5 臨時総会・準備会 12/17 オアシス応援地球志民学校
1/22~26 カンボジア視察訪問 2/18 役員会 3/17 役員会

※7/23の意見交換会は、オアシス応援地球志民学校の立案・計画をする。

令和5年度特定非営利活動に係わる収支予算(案)
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人オアシス

科 目			科 目
I 経常収入の部			
1 財産運用収入		0	
2 会費・入会金収入		200,000	会員40名分×5,000円
1) 会員会費収入	200,000		
3 補助金等収入		0	
1) 民間補助金収入	0		
4 寄付金収入		550,000	社員・協賛者寄付金 手品・講演謝金
1) 一般寄付	500,000		
2) 講師等謝金	50,000		
5 雑収入		20	利息
1) 雑収入	20		
経常収入合計(A)		750,020	
II 経常支出の部			
1 事業費		1,600,000	
1) 海外支援事業			事業計画書参照 事業計画書参照(通訳・車代等)
① コンテナ輸送事業	1,000,000		
② カンボジア教育支援事業	300,000		
2) SDGs 推進 社会貢献にかかわる事業			事業計画書参照 事業計画書参照
① オアシス社員社会活動相互の交流	50,000		
② オアシス応援地球志民学校開催事業	250,000		
3) その他の事業	31,000		
2 管理費		125,000	
1) 会費	20,000		社員、支援者への郵送料 広報2回分
2) 旅費交通費	5,000		
3) 通信費	30,000		レンタルサーバー代12ヶ月
4) 広報印刷費	20,000		
5) 文具類等消耗品費	10,000		
6) 設備等使用料	20,000		
7) 雑費	20,000		
経常支出合計(B)		1,725,000	
経常収支差額(A-B)=(C)		△974,980	
前期繰越収支差額(D)		2,109,709	
次期繰越収支差額(C+D)		1,134,729	

寄贈品コンテナ輸送事業

令和5年4月

1 目的

本件は、愛知県内支援者企業・学校より寄贈いただいた体操服を中心とした衣類を、カンボジアの現地支援団体（輸入者）を通して現地の学校に配布し活用する事業である。

2 輸送者

特定非営利活動法人オアシス

住所：443-0007 愛知県蒲郡市神ノ郷町森42-1

3 輸入者

JHP学校をつくる会「Japan Team of Young Human Power(JHP)」

住所：# 37 Street,476,Sargkat,Toul Tumpong2,Khan Chamkar mon,

Phnom penh,Cambodia

TEL:+855 23221 189 +8551 7921769

4 寄贈対象

ヤカバさん⇒山崎さん

カンボジア国内幼稚園（保）・小学校・中学校・高等学校

※寄贈先は、それぞれの学校のニーズに応じてJHPの決定に委ねる。

5 寄贈品

梱包段ボール147箱（衣類約9000点）

・ジャージ長袖上下 ・短パンツ ・フリースーパンツ ・Tシャツ 他

6 工程（予定）

輸送業者：（KK）上組 名古屋支店

① 5月24日（水）保管倉庫にてコンテナへの積み込み作業（業者+オアシス）

② 5月31日頃 名古屋港出港

③ 6月15日頃 シアヌークビル入港

④ 6月22日～25日頃 プノンペン着

※期日は、すべて目安とするものである。